

大学にできる社会貢献とは――

～貞静学園短期大学の取り組みから～

貞静学園短期大学学長 奥 明子

大学の社会に対する責任として、これからの社会に貢献できる人材の輩出が求められています。各大学が取り組んでいる人材養成は、建学の精神や教育の理念等により多種多様ですが、グローバル社会で必要とされる人材をどのように育てて行くかが重要な課題になっています。2008年12月に、中央教育審議会第5

次答申の中で、21世紀社会は、産業構造の変化、雇用の流動化など、社会情勢の急激な変化を背景に、様々な場面で高度な課題探求能力や専門的知識が求められる、「知識基盤社会」になると明言されています。

また、『将来像答申』では、大学や短期大学の高等教育機関に対し、期待される役割・機能を踏まえて、教育・研究を展開すべきと提言しています。短期大学の特徴は、教養教育と専門教育の適度なバランスと人間教育を基本にした実務教育・職業教育にあります。その短期大学の特徴を明確にし、「創造性と倫理性を兼ね備えた、真に社会の中心的役割を支える、良質で勤勉な中級実務者」の育成が求められています。

本学は、「保育者・介護福祉士として、これからの社会に貢献できる

心豊かな人材の育成」を教育理念とし、それを目標に教育課程を展開しています。必要単位を修得できれば、2年で幼稚園教諭2種免許状と保育士の資格が取得できます。さらに、保育士の有資格者が入学の条件である介護福祉専攻科（1年課程）を設置しているのも、もう1年専攻科で介護の知識・技術を修得すれば介護福祉士の国家資格取得が可能となっています。より資質の高い教育を提

供する為、教員のFD活動を徹底し、学生達が日々の学園生活を充実して送ることができるよう、一人ひとりの学生を大切に、大学が全面的に支援体制を組み、対応しています。

保育者・介護福祉士として社会で活躍できる人材を育成するため、知識・技術の習得は勿論ですが、本学が重視しているのは、保育者・介護

福祉士になることの意味を、学生達に常に考えさせる「心の教育」の実施であります。全教職員が学生の学習の習熟度を考え、日常の基本的生活習慣を身につける等、職業に就くための指導・支援をしていくことは学士課程教育において重要なことです。しかしそれ以上に、学生達自身が、人生の一番大事な乳幼児期の子どもを保育や、高齢者・障害者の介護をする際に持たなければならぬ倫理観を、2年ないしは3年間、保育・介護の勉強をしながらじっくりと考える必要があります。人が人として生きていくためにどうあるべきか、資格を取得し職業に就くとはどういうことか、根本から自己を見つめ直していく必要があります。

また、保育学科、介護福祉専攻科の学生達は、対象とする乳幼児や高



取手グラウンドでの体育祭

年齢・障害者の命、そして心を尊び、相手の立場に立ったものの見方・考え方ができる保育・介護の基本を身につけなければなりません。私は、毎週1回保育学科・介護福祉専攻科の学生達に朝礼をしています。生きていく姿勢も含めて、学生生活において、相手への気配り、思いやり、人との和を心がけ、時間を大切に有効に過ごして心にたくさんの財産を蓄えてほしいと話しています。それが社会に貢献できる人材の育成に結びついて行くと思うからです。

次に本学が取り組んでいる対外事業と地域貢献について、今後の課題を含め挙げさせていただきます。本学は平成21年度に開学して今年で4年目を迎えています。可能な限り官学連携事業を広げています。23年度より介護福祉専攻科教員は、東京都からの委託でキャリア形成訪問指

導事業を実施し、申請をいただいた高齢者・障害者等の施設を訪問して介護の講習を実施しています。24年度も多くの施設から希望をいただきましたが、大学の行事等から現在2施設に訪問予定となっています。また、東京都福祉保健局・東京都福祉人材センターが企画した「保育士就職支援セミナー」では、24年度に本学も入札・採択され8月より実施しています。この事業は、少子高齢社会とはいえ待機児が多い中で多方面から子育て支援を進め、待機児解消を図っていくこと、保育士不足が深刻な状況にある中で、潜在保育士(資格を取得しただけで現在勤務していない)を掘り起こし保育所等に勤務を勧め、保育士不足を解消することが目的となっています。本学は、保育士養成校として、より多くの潜在保育士の掘り起こし・就職支援の必要

性を痛感し、また、卒業教育も兼ねてこの事業に参加するため、昨年度よりプロジェクトチームを編成し取り組んでいます。セミナー参加者が就職へと結びついていくのが本学の役目と考えています。また9月・10月にかけて都の事業の一環として介護講座も開催予定で準備を進めています。次に地元文京区との連携事業ですが、学校法人貞静学園は、この文京の地に学園を創設して以来、今年で創立82年を迎えます。これまで地元の方々を生け花・パソコン等の公開講座、高齢者向けの介護講座を開き、学園祭に招待する等の地域貢献に著実に取り組んできました。短期大学開学以来、文京アカデミーとの連携で福祉住環境コーディネーター検定講座の開催、24年度は、区と連携して、児童館での出張講座を実施、さらに大塚警察署と協定して青少年の

啓蒙の為の学生ボランティア活動にも力を入れています。

現在、激しく変化する社会における大学の機能の再構築が求められ、高等教育の質的転換、グローバル化に対応した人材育成、地域再生の核となる大学づくり等が必要とされ、様々な改革が大学に要求されています。進学率50%という大学全入時代において、学生の学力の幅も広がり、それに対応する為に高等教育機関としてどうあるべきか、難しい責務が課されています。今後大学としてどうあるべきかを絶えず念頭に置き、本学が取り組んでいる地域貢献、官学連携事業等をさらに拡大していく必要があると考えています。そして、引き続き学生達も参加させて、在学中に多方面から職業に対する意識を育て、社会のニーズに応えられるよう、「こころ」を持った保育者・介護福祉士を育成し社会に輩出していくことが、社会貢献としての本学のつとめであると考えています。

大都会に数多くある大学の中で、小規模短期大学ですが、可能性を信じて一生懸命頑張っている大学もあることを心の片隅に入れておいていただければ嬉しいです。



学校法人貞静学園専任理事、日本家庭教育学会常任理事・副会長、「都市化と家庭の変容」、「日本の保育と家庭についての現状報告」「楽しく学ぶ現代英語」、「大学生のための教養科目英語コミュニケーション」、「絵本を好きな子どもに」等、保育・教育に関する著書多数。
建学の精神：「至誠・和敬・慈愛」
教育理念：「これからの社会に貢献できる心豊かな人材の育成」
学部名：保育学科・専攻科介護福祉専攻